

第19回 番組審議会 議事録

開催日時：2018年5月31日（木）15：40～16：40

会場：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2階 市民活動団体活動室

委員総数：6人 出席：4人 欠席：2人

出席委員：水嶋純作、山内茂樹、今安博和、松井恭子

欠席委員：松本 泰、楠崇智

局側出席者：ジェネラルマネージャー 時岡浩二

放送局長 中西 進

制作チーフ 上田秀篤（順不同敬称略）

議 事

1. 局からの報告事項

- ① パーソナリティの再募集行い、4名の応募があった（成人女性2名、高校生女性1名、成人男性1名）。書類選考・面接を行い、仮指定した担当番組を受け入れることを条件に研修に進めることにした。現在、研修進行中である。その後、20歳代の男性1名の追加応募があり面接はしたが、先方意向確認中。
- ② ゴールデンウィーク中の5/2（水）に五老ヶ岳公園内のカフェから10時の通常番組を生中継した。
- ③ 同じくゴールデンウィーク中の5/3（木）に、舞鶴港国際埠頭に入港したMSC スプレンドイダを遊覧船から見た電話リポートを10時の通常番組内で放送した。
- ④ 5/22（火）～5/25（金）に、その週末にあった田辺城祭りにちなみ、西町子供会の録音による舞鶴今昔物語のミニ番組9本を放送した。
- ⑤ 5/27（日）の田辺城祭り本祭り当日には、会場で来場者に番組表を配布するなどの広報活動を行った。一部パーソナリティも参加した。
- ⑥ 昨年10/22（日）に当地方に襲来した台風21号の影響で停電・停波した対策として、5/27（日）午後に五老ヶ岳送信所のバッテリー増設工事を、番組を一時休止して行った。
- ⑦ 舞鶴商工会議所主催の「第3回舞鶴まちゼミ」にFMまいづるも参加し、5/23（水）、24（木）、5/31（木）に設定した。応募のあった受講者に対し、ラジオ放送の仕組み、放送の活用法などを紹介し、一部の受講者には生放送出演も行うこととした。
- ⑧ 平成22年に市内の有志団体が作成した舞鶴市立小中学校の校歌DVDを音源に、同小中学校の校歌のミニ番組を計画中である。この有志団体には音源の使用許可を得た。このDVDには37校の校歌が収録されているが、すでに15校は閉校になっている。閉校になった学校の校歌には卒業生の回想談話等を挟むことも考えている。また、このDVDに収録されていない新設・統合校が3校あり、新規に収録予定である。

2. 議題

① 番組審議

2018年5月15日(火)放送 Bayside Line Kyoto

パーソナリティ：吉田美和

【主な意見】

- 好印象で聴いた。明るい感じで話しているのがよい。
- 情報の取り扱い方、伝え方はよい。気象情報を伝えるスピードはよい。一部に話し方が単調で、思いが乗っていないと感じる部分があった
- スムーズに上手にしゃべってはいるが、パーソナリティの個性が見えにくい。もっと自分を出してもいいのではないか。
- 全体的には、ゆったりと聞くことが出来て心地よい放送だった。内容についても、ブルーベリーのことや、コンサートのこと等楽しく聞くことができたが、もう少し自分の言葉で話したほうが、親近感が持てると感じた。少し硬い定型文のような感じに聞き取れてしまう。内容に合わせて話し方にメリハリがあってもよい。

② 他の番組等に関する意見等

- 局からの報告④にあった舞鶴西町子供会による今昔物語は、企画としてよかった。子供達の家族からの反応もあった。
- 日曜日 13時～22時前までの J-WAVE 配信番組の反響はどうか？
→局回答：6つの番組からなるが、いずれもローカル色はないものの人気の音楽番組や、情報・トーク番組などコンテンツ力があり、一定のリスナーを獲得している。
- 平日午後 3時のトーク番組を同日午後 5時から再放送しているのは間隔が短すぎないか？
→局回答：一般的には2時間以上の間隔をあけるのが普通ではあるが、夕方の通勤時間帯に聴取率が上がるので、それを意識して再放送している。引き続き検討する。
- FM まいづるのある西市民プラザ内で、スタジオまでの案内掲示に工夫が必要かと思われる。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は2018年6月5日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は2018年6月5日からホームページで公開した。